

# ヤマブドウの雪害対策

## < 雪害対策のポイント >

今冬は降雪量が多く、果樹園に多量の雪が積もっています。積雪の多い園地では、被害拡大を防ぐため以下の管理を実施します。

**園地の見回りを行い、被害の把握に努める**  
**垣根施設に破損があれば、早めに修復する**  
**枝折れを防ぐため、必要に応じて枝起こしを行う**

### 1 はじめに

今冬は例年に比べて降雪量が多く、農業用施設にも被害が出ています。

岩手県林業技術センターのヤマブドウ栽培施設（垣根）でも積雪による被害が1カ所確認されました。今回は、雪害の留意点と対策についてお知らせします。

### 2 雪害の種類

雪害には、直接的な被害、間接的な被害があります（表）。雪の重みによる枝の裂開のほか、垣根施設の破損など被害の種類や被害程度を把握し、被害が確認されたら資材の手配等を早めに行いましょう。

当センターでは、支柱曲がりやアンカーに接続しているワイヤーの切断被害が見られました。これは、誘引紐除去や剪定実施時期の遅れたところで発生し、早期に実施したところでは被害が発生しませんでした（技術情報No.18参照）。

今後は、降り積もった雪が圧縮沈降するさいに生じる沈降力により、枝の分岐部に裂開が発生する恐れがあります。

### 3 雪害の対策

園地を見回り、雪害が発生しそうな場合には、その程度に応じて以下の対策を講じましょう。特に豪雪地帯に作付けした場合や剪定や誘引紐の除去作業が遅れている場合には、沈降による枝折れに留意します。

- ・枝が雪に埋没した場合、枝折れを防ぐため雪面上に枝を掘り起こす
- ・掘り起こしが困難な場合には、雪に切れ目を入れ枝の分岐部への荷重を軽減する
- ・ターンバックルを緩めてワイヤーをたるませる
- ・枝折れが発生したら、事後処理として裂開部の癒合を促進させるほか、剪定を実施し樹勢に見合った結実量とする
- ・野そ被害がある園地では、雪踏みなどを実施する

表 主な雪害の種類

被害区分	主な被害の内容
直接害	樹体の損傷 主枝の裂開 枝の折損 施設の破壊 ワイヤーの切断 支柱の曲がり 生理的な被害 根の活性低下、病害発生
間接害	ネズミ等による食害 剪定等管理の遅延



積雪による垣根施設の被害



枝の掘り起こし

( 担当 林産利用部 主任専門研究員 泉 憲裕 )

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11  
 岩手県林業技術センター  
 ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>

TEL 019-698-1337  
 FAX 019-697-1410